讀賣新聞
ワークシート通信

2025年 7月 23日

★★

【おさらい編】撮影の聖地

年　組（　）名前

サイン

読売新聞 教育ネットワーク
YOMIURI EDUCATION NETWORK

航空機を間近に見られる「聖地」としてファンらが集まる千里川土手（豊中市で）

（2025年5月2日　読売新聞大阪版より）

撮影の聖地

空の向こうに小さく見えた機影が、あっという間に空を覆うばかりの大きさになる。約30秒まで高度を下げた航空機が、轟音とともに頭上を通り過ぎていく。カメラのシャッターを切るのも忘れ、思わず見とれてしまうほどの大迫力だ。

豊中、池田両市と兵庫県伊丹市にまたがる大阪（伊丹）空港。その東側を流れる千里川の土手（豊中市原田中）は、航空機が滑走路に進入するルートの真下にあたり、離着陸を見物したり、写真撮影したりできる「聖地」として知られている。

◆大阪（伊丹）空港ちかくでは、大きな乗り物が大迫力で見られます。

※先生やおうちの人といっしょによみましょう。

【1】写真にうつっているのは、なんという乗り物でしょうか。

【2】この乗り物で、あなたはどこに行ってみたいですか。

©The Yomiuri Shimbun

讀賣新聞
ワークシート通信

2025年 7月 23日

★★★ 【おさらい編】2025年 富山・大阪オススメ

年　組（　）名前

サイン

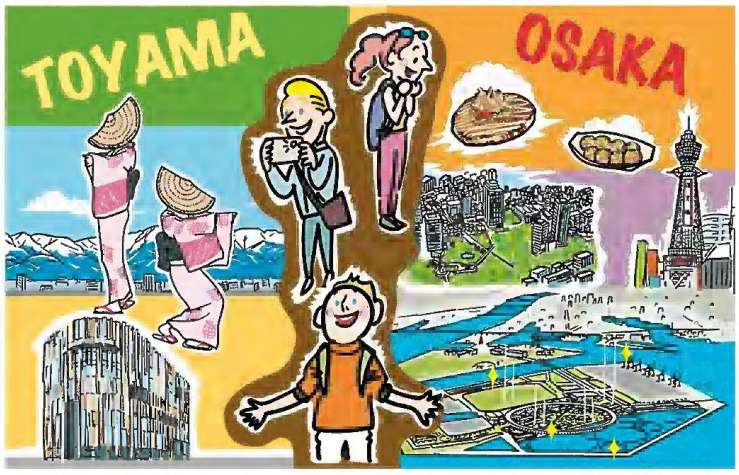
読売新聞 教育ネットワーク
YOMIURI EDUCATION NETWORK

◆アメリカの新聞が推薦する2025年の旅行先に、日本では富山と大阪が選ばれました。（2025年1月16日　読売KODOMO新聞より）

2025年 富山・大阪 オススメ

ニューヨーク・タイムズが選出

アメリカの新聞「ニューヨーク・タイムズ」が１月７日に発表した「2025年に行くべき52か所」に、富山と大阪が選ばれました。記者などが実際に訪れて良かった旅行先を推薦するもので、過去には山口市や岩手県盛岡市などが選出されています。



イラスト・楠本礼子

富山は「混雑を避けながら、文化的な感動や美食を楽しめる」と評価されました。豊作祈願の伝統行事「おわら風の盆」や、建築家・隈研吾さんの設計で知られる「富山市ガラス美術館」などが紹介されました。

大阪はＪＲ大阪駅付近で緑地を設けた再開発区域「グラングリーン大阪」が「画期的なプロジェクトだ」とされました。

日本を訪れる外国人観光客は、東京や京都などの人気スポットに集中しがちですが、23年に選ばれた盛岡市では外国人宿泊者数が前年の約9.5倍に増加しました。ニューヨーク・タイムズがこのように、日本の地方都市を紹介することで、外国人観光客が地方に目を向けるきっかけになることが期待されています。

【1】富山と大阪では、それぞれどんな場所が紹介されていますか。

富山	大阪

【2】日本を訪れる外国人観光客に、あなたがオススメしたい場所はどこですか。その理由も書きましょう。

©The Yomiuri Shimbun

讀賣新聞
ワークシート通信

2025年 7月 23日

★★★★【おさらい編】万博 未来の医療・健康　体感

年　　組　（　　）　名前

サイン

読売新聞 教育ネットワーク
YOMIURI EDUCATION NETWORK

◆大阪・関西万博で、未来の医療や健康をテーマにした展示が注目を集めています。

ZOOM EXPO 未来の医療・健康 体感

パソナグループのパビリオン

培養液の中で拍動するiPS心臓

姿勢を自動で制御し、最適な睡眠に導くベッド

飯田グループHDと大阪公立大の共同パビリオン

健康をテーマにした未来の住宅。健康状態を測る様々な装置が組み込まれている

カメラやレバーによって、身長や体重、心拍数、体脂肪率などを自動計測

AI

AIがデータを分析。食事のメニューや適した運動を助言

「適度な運動で心拍数を安定させ、ストレス解消に努めましょう」

住宅大手・飯田グループホールディングス（HD）と大阪公立大の共同パビリオンでは「未来の住宅」の画面に自分の健康状態が示される。

玄関に設置されたディスプレーの前に立つと、上部のカメラがわずかな動きを検知して心拍数などを計測。さらに微弱な電流が流れるレバーを握ると、体脂肪率や筋肉量が測定される。得られたデータをAIで分析、健康状態が表示される。同HDの広川敦士・次世代技術開発室長は「健康維持に貢献できる技術だ。2030年頃の実用化を目指したい」と語る。

パソナグループのパビリオンでは、暗い室内にある真っ赤な培養液の中で「iPS心臓」が拍動する。アニメ「鉄腕アトム」の主人公アトムが、未来の世界でiPS心臓を使った手術で復活するというストーリーだ。iPS細胞から作ったシート状の心臓の筋肉（心筋）も展示されている。

大阪大発の新興企業「クオリプス」が開発。iPS心臓は心臓の筋肉細胞を心臓の形に培養し、約3・5㌢の大きさにした。心筋シートは、実際に患者に移植する治験を実施。同社は4月、国にシートの製造販売承認を申請した。

同パビリオンには、最適な睡眠を実現するベッドも展示されている。睡眠中に変化する血流などの微妙な動きをセンサーで検知し、安眠できる姿勢になるようマットレスの傾きが自動的に変わる。

【1】記事で紹介されたパビリオンの展示内容をそれぞれ書きましょう。（2025年5月15日　読売新聞夕刊より）

飯田グループHDと大阪公立大の共同パビリオン	パソナグループのパビリオン

【2】日本の医療・健康にはどのような課題がありますか。調べて裏に書きましょう。

©The Yomiuri Shimbun

讀賣新聞
ワークシート通信
2025年 7月 23日

★★★★★ 【おさらい編】部活の全国大会 必要？

年　組（　）名前

サイン

読売新聞 教育ネットワーク
YOMIURI EDUCATION NETWORK

B論 部活の全国大会 必要？ A論

◆部活動が転機を迎えています。全国中学校体育大会（全中）は2027年度以降、20競技から11競技に縮小されます。あなたは部活動の意義をどう考えますか。（2025年3月14日　読売新聞朝刊より）

東京都東久留米市立西中学校はハンドボールの名門です。大小の大会で数々の優勝経験があり、校内にはトロフィーやカップが並んでいます。

ですが、ハンドボールは2027年度から、全中で大会は開かれません。主催する日本中学校体育連盟（中体連）が昨年6月に決めました。男子の主将で2年生の松島璃空（りく）さん(14)は「全国大会は高いレベルと緊張感を味わえる貴重な機会。ハンドボールはマイナーな競技かもしれないけれど、全力を注いでいる僕たちのことも考えてほしい」と訴えます。

顧問の知名英則教諭(45)は「目標に向かって努力する中で、成長が得られる」と、全国大会の意義を強調します。東久留米西中からは、ハンドボールの強豪高校に推薦で入学する生徒も多く、「進路にも影響が出るのでは」という懸念も膨らみます。

全中で廃止される9競技は、部活を設置している学校数20％未満が目安となりました。打ち込んでいる生徒は少ないものの、大会での活躍をきっかけに、日本を代表するアスリートに成長した選手もいます。

新体操の16年リオデジャネイロ五輪代表で、17年の世界選手権銅メダリストの皆川夏穂さん(27)は「全中での優勝が自信になり、より上を目指そうと思うきっかけになった」と振り返ります。

部活動に詳しい早稲田大の中澤篤史教授（スポーツ社会学）は「子どもたちが練習の成果を競い、能力を高め合う場は教育的にも意義がある」と考えています。その上で、「現在の全中は規模が大きくなりすぎており、運営のあり方が改善されないと、競技大会としての仕組みは持続できない」と指摘しています。

「勝敗にこだわって部活が楽しくなくなるのなら、全国大会はなくてもいい」。千葉県柏市立大津ヶ丘中学校2年生のバドミントン部員、関崎咲来（さら）さん(14)は言います。

柏市は2023年度以降、市立の全21中学校にある18競技の部活で、休日の練習を競技経験者や指導のノウハウを持つ地域クラブなどに委ねています。競技経験がなくても部活の顧問を務めたり、休日返上で部活指導にあたったりしている教員が多い実態を改善するため、国が進めている「地域移行」の取り組みです。

関崎さんたちを教えるのは、休日に活動している地域クラブの指導者で、実業団の選手としても活躍している本多英洋さん(60)。「楽しいからこそ、長年競技を続けられている」と考える本多さんの部員への語り口はソフトです。「試合では、力を出し切ったと実感できることが一番大切。勝利ばかりを追い求めるのはよくない」と強調します。

部活動を巡っては、勝利を目指すあまり暴言を浴びせたり、体罰をしたりする指導者の存在が度々問題となってきました。長時間の練習で、勉強時間が削られているとの声もあります。名古屋大の内田良教授（教育社会学）は「全国大会を頂点とした大会システムが、練習の長時間化や指導が過熱する要因になっている」と指摘します。

その上で、内田教授は「練習は週3日まで、大会も都道府県大会までにするなど、規模を見直す必要がある。たくさん練習すれば勝てるという発想を転換し、週3日の練習でどう勝つかを考えるような活動にしていくべきだ」と提案します。

中体連は競技削減と合わせ、▽存続する競技の日程を3日以内とする▽参加者数や開催経費を3割削減する――としています。

【1】部活動の全国大会をめぐり、A論、B論からはそれぞれ、どのような課題が読み取れますか。

【2】あなたの中学時代やこれまでの経験を踏まえた上で、部活動の意義についての意見文をまとめましょう。

※回答は裏に書きましょう。

©The Yomiuri Shimbun

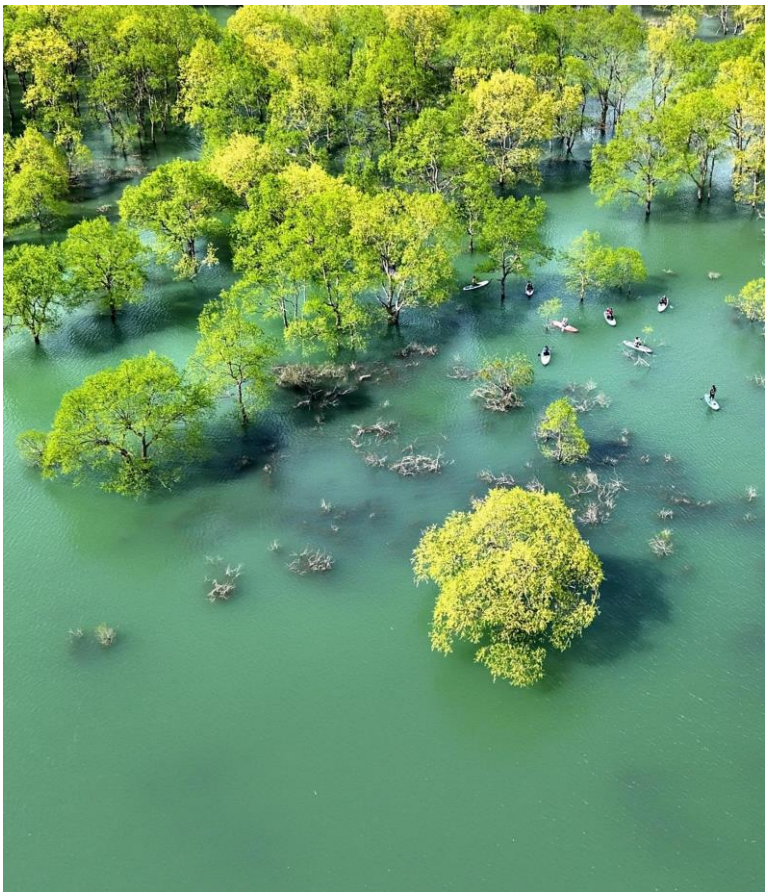
2025年 7月 23日

★★★★ 【おさらい編】'Sunken forest' appears

年　組（　）名前

サイン

◆大型連休中、山形県飯豊町の湖に多くの観光客が訪れ、幻想的な光景を満喫しました。



Canoes glide across a "sunken forest" at Shirakawako lake in Iide, Yamagata Prefecture, on Monday.

'Sunken forest' appears in Yamagata lake

IIDE, Yamagata - The beautiful annual sight of a "sunken forest" has appeared at the Shirakawako lake in Iide, Yamagata Prefecture.

The phenomenon is only visible between late March and mid-May, when meltwater flows into the lake, raising the water level and making it appear as if shiroyanagi willows are growing in the lake.

On Monday morning, visitors enjoyed the view from their canoes, drifting across the lake's emerald surface.

"It is beautiful to see the red and yellow canoes standing out against the green [lake]," a visitor from Ageo, Saitama Prefecture, said while taking photos.

（2025年5月7日　The Japan Newsより）

【1】「sunken forest」は、どんな現象ですか。日本語で説明しましょう。

【2】訪れた観光客はどんな感想を述べましたか。日本語で書きましょう。

sunken : sink（沈む）の過去分詞　forest : 森林　annual sight : 毎年恒例の風景　appear :現れる
prefecture :県　phenomenon :現象　visible :見える　late March : 3月下旬　mid-May : 5月中旬
meltwater : 雪解け水　flow into ～ : ～へ流れ込む　raise : 上げる　shiroyanagi willows : シロヤナギ（ヤナギ科の落葉高木）　canoe : カヌー　drift across : 漂うように移動する　stand out : 目立つ、際立つ

©The Yomiuri Shimbun

広告

授業活用のご提案

あなたの未来を強くする
住友生命

はじめませんか？

創作四字熟語

**いま、「創作四字熟語」を教材として取り入れる学校が全国的に増えています。
実際に授業で活用している学校の先生に、創作のプロセスや成果などを
お聞きしました。**

創作と評価の経験が、「よい言葉」を見極める力に。

大阪星光学院中学校・高等学校　国語科担当　**黒田 直樹** 先生

言語的な表現力を養う目的で、詩や俳句などの創作に取り組む「表現活動」を国語の授業の一環として行っています。中学3年生の表現活動で、彼らが苦手としていた漢字・漢文に親しめる題材を探していた時に、住友生命さんの創作四字熟語の案内チラシが目に留まり、「これだ」とすぐに活用を決めました。
授業は全3回とし、1回目は創作四字熟語の説明とブレインストーミング、2回目は創作実習、3回目は作品掲示用の清書の時間に充てました。作り方の解説動画と過去の作品集があったおかげで、生徒もコツを掴みやすかったようです。私のほうでは材料として、既存の四字熟語と、その年の出来事をリストアップし、あとは各自の発想に任せました。
作っておしまいではなく、他者の視点や評価にも触れてほしかったので、創作四字熟語の応募と合わせて、生徒による審査・投票も実施。そこで上位に選ばれた作品のうち、2作品が本選でも見事入選を果たしました。
一連の活動を通じて、多くの生徒が漢字の語彙力・発想力に加え、よい言葉をよいと判断する感覚を掴んでくれたことを大変嬉しく思っています。

創作四字熟語とは？

「創作四字熟語」は、従来ある四字熟語をもじったり、オリジナルの四字熟語を創作したりして、一年の世相を四文字で振り返る「ことば遊び」です。1990（平成2）年に作品募集を開始したところ、多くの人々の共感を呼び、「その年に感じたことを漢字に託す」という新しい概念として定着しました。これまでに文部科学省をはじめ、大阪市および大阪市教育委員会の後援事業としても認定され、さまざまな教育的効果が期待されています。

活用のポイント

1.アイデアを出し合う時間をつくる。

創作の第一歩は、複数名で自由にアイデアを出し合うブレインストーミングから。多様な意見が創作のヒントになり、一人で黙々と考えるよりも楽しく柔軟に作品づくりに取り組めます。

2.あえて“教え過ぎない”。

独自のひらめきや工夫を発揮できるよう、苦心している生徒に対してもアドバイスを控え、見守り役に徹しました。実施学年や生徒の傾向に応じて、教える領域を予め決めておくことをおすすめします。

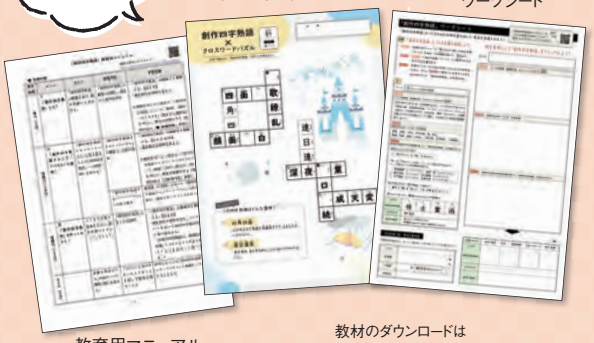
※「創作四字熟語」は住友生命保険相互会社の登録商標です。

授業ですぐに使える オリジナル教材 をご用意しています。（無料）

授業等で「創作四字熟語」を実施いただく際に便利なオリジナル教材を作成しました。ご自由にダウンロードしてご活用ください。

- 「創作四字熟語」を組み合わせたクロスワードパズル形式で、なぞときを楽しみながら語彙力や発想力を向上させることができます!
- 初級から上級まで対応した3段階のレベルがあり、難易度に合わせてチャレンジできます!
- みんなでアイデアを出し合ったり、問題を解決したりすることで、コミュニケーション能力も自然と向上します!
- この教材を通じて、幅広い言葉の世界を探求し、新たな発見を楽しみながら成長してください!

Free Download!



教材のダウンロードは
創作四字熟語 授業 検索

解説動画もご用意しています!

解説動画と
オリジナル教材は、
学校応募ページに
アクセスしてください。
https://cam.sumitomolife.co.jp/jukugo_jugyo/

募集要項

募集テーマ　その年の世相を的確に表現した「創作四字熟語」で未発表のもの

応募期間　9月上旬～10月中旬

応募方法　募集開始時期になりましたら、
住友生命ホームページより応募いただけます。
https://cam.sumitomolife.co.jp/jukugo/
または、お近くのスミセイ ライフデザイナーへお問合せください。

入　選　全応募作品の中から、最優秀作（1編）、優秀作（9編）、入選作（40編）を選定

審査発表　12月中旬（予定）
住友生命ホームページにて発表いたします。

審査員　俵 万智さん（歌人）

お問合わせ先　住友生命　大阪広報センター
TEL：(06)6937−1706
E-mail：jyukugo@am.sumitomolife.co.jp

学校単位で応募できる学校応募の部を新設しました。

学校単位で取りまとめてご応募いただいた小・中学生、高校生の作品の中から、学校賞として10編を選定いたします。皆さまのご応募を心よりお待ちしております。

入　選

みらいのアーティスト賞
- 大賞（1編）　図書カード（2,000円分）＋賞状およびスミセイオリジナルグッズと入選作品集
- 入賞（9編）　図書カード（1,000円分）＋賞状およびスミセイオリジナルグッズと入選作品集

学校特別賞　賞状＋入選作品集

学校応募の部　応募方法

1. **応募者全員分の応募用紙をまとめる**
   学校名・応募担当者氏名・ご連絡先、作品ごとに作者の年齢・氏名（入選作品発表時に匿名希望も可）を明記してください。
2. **郵送またはスミセイ担当者に手渡しで応募**
   下記宛先にお送りいただくか、担当のスミセイ ライフデザイナーにお渡しください。
   宛先　〒540-8512 住友生命「創作四字熟語」係（郵便番号の記載があれば、住所は不要です）

注意事項　※学校応募の部で応募いただいた作品も、一般の部で入選となる可能性があります。その場合、一般の部で入選した作品は、みらいのアーティスト賞の選考対象外となります。※小中高生の作品であっても、学校応募ではなく個人での応募作品は、みらいのアーティスト賞の選考対象外となります。※詳細は、住友生命ホームページに記載の募集要項をご参照ください。